



F蔵 神宮皇学館文庫

多

60616

うかっきのこつれから人の、れひというるというか 人ようねうしょうないとからってもあることのう ことのそれるとれる いひかくりかっまううきる事をみるなるかっているとう いくしていているとうとのあるのろういとつからいちのかっ んかもいいいいろからついい

そも

る事 不言む かかか

楚之上 見り

ろろろ

かいえる 己药

もうつうかい

いってていかからかりろう あかかのゆきてろのなめついったからていかかいろ やってきるいかでもえのか かりついつきんのなるう うちゃかのうろとろうううきあいてこれくそう あそれのっきもつま そうろううこうへ わるるやいはっちゃんかもいうまではわろうつめのられ 一生に、すつうちむくのうりないのかともありる しても我とれられてきかりるかといそてかあかれてい かつゆるから ないなみ」 うちろうかいわめるさむのゆうと うとみろうからのうかのうか いろれたわられるるろと のかのそあのかけっ るかくのいこち

「香雲集」 10060616

ーろ

五五

没为

かれ

とし

走一

退至石 33

有好

ひとし

りっかのかるなずあるあせ川わるからこのあってゆ こととうけそれらかとのがかとうかとかい つまてりるるるかもひてのい 7 わりうな中もというわら いくせれのでするろん くのののあるう 4)

りっからかりのさのちの名とおもひのつゆのでるとうへ ともれてるかというの回るひとすとゆうずれのあ あはらちけられる ひとうううるのもあるは せるちょうとうかっていまいとうれるかりののののでのう まわりのそれられるをおのとるみものです 数されらうなはちのあれてかもひと人でん

せかいとうろくつう

してともとの日の入るかかっちゃうちゃとかる たこのり かとおって

まちりまれるようの人こととこれとうるとろう

りていのさいのな いるとかれすりへそつきのるととうへろ

うらからいととうしろと いるときありかいはる

うつろいつかいいうなってのものちってぬみもろ かかり

人ろなといもしすみあるかそうけていの

ありてきなととのうろうかともれやうけれて人やつうな

いのうとうといりのなる いのうちのかごころれみときいたろうろい いくいかかっ ションやとか 9 かいろう

这一 初多 るき 稀一 ゆかとようなりいあってというるとのかな るなかってってするの かわらくっなひろく れもさてわてれているやるととろうちろういのりも わっつていなととい きえというとまていうるうろうなかちもろろとんのつれるが ないろういてこれいこのむとよるる 人ちくたいころからあるしろのひろへやきてわられ それちるかとつうち うるものゆるいうああ あるみもむるい花のうつころ をとのてろう きあるろうかよってきちい かるのうきりるつうこいちあったい うなとはいう さると人みゆい 人のうるか

をなり ちろううるかんか あるうち他の多うゆからけれれるるをありいいと いるれんまではらくろうなるのっちいっというない うつろからこれもなのか いつまていられるかしいあるのい こういとはつくてのですかわられまの月りきてひー中のむと 犯をいれているうろうるとうかせいとるからのもれ まってかっとへもう 名とうけつうき いまいまるあるとあり むのとのちてからんろあれとは あるるのうてなっろうないとうあれ えてそろういとるかのかの とつむつきからますととうもうから りといあからまれ からうな中七ととうい のころしろうろ

考む

遍)

題追

新新 粉别

るかろうろう るののなら中かりい ちつういてやとろしんのかるら かうきて めかつずらうつのぞろ

30-1

のうろのうせるあるとうか ろうかれんとそれからろうるるかあるまでしたか むこととかちてしのちのわれるむってきるのけ それるかいて

さられとけかれるする ていれてつろうかとう

わううのかろうかられるちいうううゆるもいつうち

烧,

あってとしていつるるろういうき数ありるきなのか

ないなってあってっていれているくろう

かん

神のつめのきめとしろさいかけりめかるううへんしかもいう

治分

くれれていつういわった

くもあとめからねっとのか

いてんくなかろうろう

さんでとうちまてちのかってうし

るちも

発行

唐家

おる

一あくとなっているのはるるるのとるるとろろのど

かきっこうってんの好にとうのとからのてるそう

成一

あるりおもひいうとあるとといろったというなっころのう

神なるのかううきせのいるであるきなどってせてあつけても

うちいろうかっていてののつけてあるともかってもあ

るといいちろうとあり

ずつちとのことがもとめると

老孩-

もってかるかって

ちちりいかろののそこのちとている

しろかくのつう

そのそとのこすなかかろうでの

「香雲集」 10060616

多多 多的

あるのうきれるることのかろいひょからのち

あのりとてきのでいたととろっていいいいのもとのかっ

好

万分はいともあってかかのちかでの人ろのかっ

神宮皇学館文庫

わずれしろうもまい

からるいろというそのかか

「香雲集」 10060616

しるき

智名

るけりかあけいろしもうきるのしかっきるひんろ

多いかつれるさくなるとうもあれいるでれ

おもいのでかってってってことのそうってすかってあるからかい

2

我

きつれし うしかもい

こう中るためかしてううとならん

居经

るのかとうしているよ

好老

うろうといろといくるう

そろんのかのろうるから

むかき むいうしかれる

そうろうろろ人るかはつろ

かれらさどうされわられているか

旧多一

あっちろんなするか

の対の私できったといいろうころ

つれるともかもいうしてきるとううのとうかられるから

うちつかないちかととうとうしまっていから

あててなるるでとかるからちとていうちとと

沿梅

五個

人にきるわれずちみなう

分ろうなをはりいうとかて

色

なってかめのちのかいかっつ

くみの意の多り

うきれのといいろろれていあって

ゴステ

とのとうされ

シー

すっちとしいかれのものかってろうるかないらる

うりしてうちあるるるるとやとなって

33

かするがならしてつるかとうるいとういろので ちらいとうかとけるさられまかからかいある うらいろんかのとらい うかっているのかいいかかっちるかい人もろう いるのうりゃつからつかりそうわ

五石之一

うろかてからくてと うずむらないるける 、るちううわりのかい るのでしているかいちからかるそうとうでいるからかり うつろそんまのなと、 なるとうりのからの月に俺よっきとないかや又とうい そのなといるはかないないのろう り付とりょう くゆくろろうのろんときれ うす人いかのら 3 してろのそうちか いらのあ

夏

えもてれるするとからずつかからあるよう わっかのもうなろのかととうてしるりはそのものおい いいいなんからかのです わえてのとかるのろのう 花のろうからかっているいるでしているでん こつからろとくなるちとろ ごはきしいいろのうてとれてか れりいちいいろのあますることがたいちという そいそのうとまれるといわまりくるかののこと つれもあらけるうつきの名のしろてあるいろをのるりれたっ くろうとし うるかもひのとってろのおうえ ころうそのもすのちろろ 一人のほやらいある -のなののろとれう なってもあれ

好多

美路

大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫

艺品 えるよ 格岩

多)

本 22

一衣

多石谷 的言 老多家

ようかいちをめららまかのそれ あるるからいるこうとくというるちのかの ~さてありのあのろうもかはつるからわれて ろういてもろれとどののうるはるはかのか場もう こせるのかんとうろときあいとうろれてもろのといと あらきかわるといい 人とのこかもいるちのときもあのいろうもかるかく つているかいこいのかけるとう者というとんう らるかうろととく これるういとはうちろうちいめてきるいの うるうてんなるとのはるうう 1ろも人多のうずるころもを 方もそれのからいろとる と人の一ろ なっちのや

りませー

リンセラー

一一一

小钱门 2

つる うかり

多月一

いつのらみかいろけかてみもんをすりあきみかりのけ

まれらりかられてはくるるのであるかのへきてんち らいるのはているもかっ ううちってもひろりか

ちつちのよろうし人 のそてもしれるしろうつかわかること

必なわりてありという それもなるかのろ

おそれとことのとからいかせするかろうちつかてつか かれていむつくしまされるるととのむとれから

ちまるりとれて中でおりのいろしろとちらりとそかも

かもいろっかととれてもしくいもかるをこれてと

へうているいかつつうろう やかとめのせきいわらと

一里 多治 海也一 ろれてつむしある国門とうの神のいうかの わずり川人にてるあるを記せるかもいの例よいつって 人ろうなわりあいちょうのちでんは多りののでととなっ 何とかろうるのはのことつく つろうことのとるのゆうからろっちょう うるころととれれはあのするされないろろでそのうなこ うちゃれまれているからつううかないのはい中るためる うるのちとれととあるろうきるいいっていろろ はまろうろうのしい 一月とかあってるめりとろうれるれるりるやころ これがそれめらわれるるでし 一よろろろろうかで かひろ

写

うるあー ーモーー 八代 たった 话本 えた 档 浦

おり

あるのこ 人のことはいっち のううるうつかられてられるうちとう ころそんかといってきまいくているとろわずのうのもかあ ちのるのわられてくてのだとれてとけるちののといちゃ いていとまたこのちらう一はの入れいそろかかかられ つからくませとといれるとときりやらのとういるのとう るのかっていけれているのうるいろううろうろうろう うろうりはするれくかい 人かうきょめいるといあるつるできないから 人的野中次多数 るとしてみちずちれてきのも あるといいとりんなあ されるかあってからるけいち

1% いろない カスト 3 なる 新

そろかいっつうこと

のうつこすけずわるのうているとう

うちらいくしくよめうさか

「香雲集」 10060616

なりってるといかから

かいてもちののろう

してきのよ

なるからるとしのからのあうかとしからか

うてくまからののか

ろううれたもすい

ろいうのともます

んこしとのする

神宮皇学館文庫

對一

おゆかくろろうち

うれちみかっちかれる

ちるいろしかろもある

いわからしろうかとのかとう

一元

一七一

がとすてかられる

世るとれてもけ

うるかのいれ

いやすべいのかなるろう

まるてくれいろものころい

かりいるうきてをううとこのまってのこうはり

一大板

多いえのうってい

めてはなめのとかろとのかかかっちゃっとう

)公寓

ゆっからいくてしんなちのからすのわるれの

むころやるるれるとと車のいうわれつうなるるが

ナラ

り車り

とうなめからかれてとめかくも生をは月かのるいとうう

られているのみなやと

の好もあいっきていから物味の

かっちっくとあっているよういとすちのなるまれいろうちの

一位近

省

くしていうやむので てらるちかてのかのないつかと

すったしくいるともさいろうひとうろう

くればらせてや

とうんとのかってかかなみてもあくのころらとのこり

めのつともあるなるものとあるうつきもの月も入るて

将 掠行

かんなうところかれいさる

のさいのことろは

とのめついろううるるといろれず、まれる麦のつろ

しまり

つっかいまるるはかかある

ゆるることと

るみれとうちもうかかつき人のうちろのころも

月まる まろうちょう

いころしないとろしょうつろきる

しつくさいやうりるいろうろうのころせと

うちとけてあれからか

ることもちはなるからきものろうつろうかのろう

リなり

りきり

むからろろう

りのもつをのうえるようさん

わりとてもわしてるないたといかいこのうちのらけとうでき

うとうてんしていれれれてうちょうかことのひろうてなら

琴

「大き」

一番一

うつすともあっきかあするひまいあとかくるの

のおけけ

少くる~うころ きるのつれるさい

強すっくないっ

一進丈

コスト

かくそのするろう

うろともろうくうんとかす

かこうまっせいるのからつううう

一高人

のかられていまる

うへろうのあってうらかれるのう

たいろいいろいろう

まきとろとうしつりつかくいまり

すらのきとすらるかついいとる

雅部

月もそのろうんとするいのうちょうかいろとあらのものろ

晓老

神宮皇学館文庫

「香雲集」 10060616

设路 圣经 多奶 ちる るる たち 强 りをち もるころけでかのさやす ちょうにものかろろ ののなるいちかんのなきまれかり るるるるるれれのあるとおきこするのかに 好いかられていることのとのことろのとろうない とれっちょとらのちのっ るけてゆかいのであるう のかっちこけのみとりのむりのでしてあるとうのいけらい 必のかもはのとうくまれる能あつる、 れるかくなののうりのためとちか のあるうろのとちそのかるのあ けらるからるるのあまつろうち りきていかられのある てるせてくろうかろうは かかのまめるころも

過過時間温光

る多多る

るつかをはるるちあるかかいゆうけのこつのるかなる ちのいけてうるの何とあするれるむろいるのとも かかつかゆましての もううひ属すとうやのうからさいているのころの 川ろくめらってあのきのろうこのろうてあるとうのうろ をろれつかともれてのゆかりけみーせのちものちょ そのさもあるいんですりまむのあるとつけれいのあの ありるかはないなみるからかにのなるためらる そのからってかのかっけるとはあるうとうる いろうるそうとうもいもれるのとのくろ 百風とるちりるか うろのあち ちのつけ

山高松

ショス

では戸愛 烟钹

田記る

をすり

うち 1125

加力 たちー 野草港

的部 梦生好

モー

な

山儿

なる

ありのではいのうちといんもうでゆののいけのことの 极いういうら山してしてんてんているねのことうさ あのうちあるしていれゆきいいのころうかいてみあのる らつのさとのよるといろれいろうもまちこつつろう いろうずむかのするひつ りつけいもろうまとしてとの方のあれずらいちろのあれ るつめられというだっているかとからのするころ るからととことと ちろくとあいくからのつゆってく 人つつるずれのいはのそろ イノで すむんもちかからのとうのいは たられのろのとうりいともさい これのかろかろから 一つつ川田はするいる

でるかいくいのすれのるのなるかろうかのあるとうって

弱性ちょうてもからにのはよっろするそろのでくる

うつよのれてもころをはれるのだとなりからなっとのあけ

うでいるないことうとうほののを得るとれれるのい

行きやなかろろかいくこうからもの祖とのそもかつ

あたいすからうかあらしていくるとうちん

死もみちんからいろんれるうろれもあるのろうろうろう

なるいれてやころ のきよもれるったのしむ

うちろろれいをうるれ それくアカとうときをものう

あるからならわのをあるうろうるうであるったん

133

りなら

は多

名がお

をかり 竹俊

うなな

道德

多好 林番は本

松档

野

里愕

江芝 ジャ

挖地荒

るけのうけってとそののとは山山かれってのとときむっ れたうせるううとのとのちろうろうちょう らいまるもれりから他のおってしているりといろはのう おうろくとどなことのそのからうるかのあるのゆるとと るりっととかいいりにきらる 別ろうろう この ろみゆるっ のそろと

わってううういちのおひろりつきてゆるの名でいそうん うろうくちちろうちろうちはなけのちひろのうけもちへつ、 りこううとりもそのうでありときのりかかってもる うけつくけのるとちまりいるゆううりなけらず

方のころいそうす風のかりろうあこめるのしひ 当ちているのちもちるをけるかるのとうのそ

ましめたのでとり中でくのりとのかろうのか

ちむちるのいやれりともるちなられ スひきのとろ

おされているにいっしいうのろいかなとうう

をめるするいるのかいかれるありつくる世のたら

さらしていれらこのあるらりったとういうきかという

里くろしなつの、中はもちちち のもうり からかのゆろうう

入かののきりからまてかれるりかりでのありのあるとろって

あやうかつううううちからうけのつもからきる

多もあるううないののでけるとうとのこすとはか ざもれのうからっとうなすてむるこけからさまのとろ せくけてかかころうしてけてけるはいないろうるとやとも

苗 野药 和弱

13

夏教

克儿

林多多

あるといるうのをあしれてておからるあっとりの一方

う人のひけるち失しゆうむまてきもちむるたろけ

れつうろっかって

もろうてるのかはこの数

心なる

いまついろうのひあつりなりを必めではってもなくちろ

· 李多

せいとうもなっていのろ

そろれどのれるもとうかなつる

りをあずらのとのしのろ

るだり

そろののゆるからてっ

彼のようをいるそう

のもそととうへのころのううつとある

多多

多河

あるというゆかかれ、みつくってつかっての行かっきち

よそひあれとかのとうるちろっていのうるるれの

すつきのをのとうの友ついはいとわりのうしとてやすい

山ちらら川へはの流きめるかんかりとちからなつろ

神

酒館

晴天

このかけってとりのやかてからか

一つつうちもありのは

名語

あらりののあれやいく

とせたのるなもむれからろの毛衣

をとからいうかっこうの致

あたいいろれているいとろれるとろうとき

林多

をもなとるるるかつき 山りの治るとしるころうろうるのろろう

てわけるるののかびずてつるいろと

してからのうみからつやされ

神宮皇学館文庫

カロ座入 「香雲集」 10060616

吃彩

加強 档

北通

考到 一上定

野り季

一月夏

谷進史 治社女

> 11人ちもかろきまり ういありしょうしつのろれかりろうちのなからのさい いつとてももの多えのう のありところ物とらるうつううちょうち からういるかん くろろの一

うなのむさるある らさる人とれとときとりのことともろう名のあるれる りのせるさはろろものうすもってつい

多ちなるとはなる一個しまってろれっちかのある うちられていとろれのうるみとうさるくるのうつると

みらのかよう神でるのかられれるいらあるろうを

みるるではけらたの名になるるるるまひくつらい

ゆかはなってもごろううれめのううるなるやるなる

いろう

うる空

晚時的

也湯

耽っ

绳船

1日さいくころのかのきとつ、きちやうかめのかりそれ

一つうまわっまっきてもらるあれるのかっちっちいちひか

うるとうかもらわさまれかりまいとうあるでのうろのうか

あそれませつでするるのかられる的でもあるのやときむっ

うしてからうだかれるではなってもとかあっている

わらそめてなる流 いるのかの世とるゆるこのなせる

どもりとなるろうるなはんろうのはることつら

うなのるようなみなかっかれれあるのするのうつい

なりめるるののののくる里去ののかいもろれつきて

つかってあめてらの彼のよるこめかろうのととし

コロ圧入 「香雲集」 10060616

海村樓 浦 的 走了 あるとのかとうところしていしてとうるろのおいろ そもあるるうはなってきるとうとかかものかつりるい みるとこれこのよりからのでき井る乃ることとも

小地山 タルを 必回ろ 北をりる あっていてくっというはもちてやらくは中のつつる うろのしはかくろうまる とりはいこののうさをはってくちられてかれるのち うろうかんところくろけるるの山やる里ろうそむからけ タローからるとれたかくあっちまるを過失 くすむ里あれるそのあるろ

多士山 あるりろともととう人了みせるやかのあるのさら

ちいろとさる

こ上山とうてるちろ

名石浦

つつるのあるるけいものはもわってこひのうるなかかっ 称ものまそのはととととうからからうかろうのかくやす うちゅうこつのううかとうからこれやむつのかとのは 世あるいことそうまのあるうではもりあの多ともはん ゆるてにはされいあうう まっていかののかっ あつりかられのこうのされせらてちありのあるいあった できなのやでのすらひること上山まるかのゆくら 田子のうるれてるのはの上のきあるのうる 次ろるころうちのうちろうち うかかとってかるのすえら

了里

一年

河

3.

しし

河

おちち 吃格 一香品山 野 おりますりの学の一つくしるかりにはのもろくその格は おそいのねいなこのう ちらひれなのまられてしているのか いつからしていってもかくっちょかつののあろける そのそのそのころともわれちなからるうろもおろろう わけらりのではるす一致はをしろぶありのう うててゆういちつのちみいてつるととうつむたくも えらとやっていとうんろれてのあのあつまのつか こいころしいううともあるうけいまっているののろう かのありともり一行の山本のかかっさされれのころ けてみとなってかうのろ らのうつろのころ

器核 核必发 遊院 話とむ 强药 一位多 选院 えつ 世のなっとかの肉なるることがよういのきてる我のいろ きるなるなっちちくいとつまたのこいのやす 人ことうるあろうしたおかからなっているという むるのちっさらいかやってくれのゆまってるちろう であったのともうのうきもいってきる めつりしてつからあるかなってろめいのうとうなる ろいのるのうろうる あののうむのまといるのろうかとれてやちりのある ゆるてくれてりととところうちの込むていれるいつ、 あきらてたのちあのうちゃいれてなるのうととかかか りるひの海をまるのかのうらう

大学附属図書館所蔵 神宮皇学館:

を強い 居日夜 遊店 选品 起り 相述格 社 139

多月

かられのそかとうひていくうかけるかっとるけら 行ののごろうう 引きなわのうなとうとしなるなるなろうないとから る月いさっとかのなってろとっこつかれこというのから ーすちのたるいそる うきわさのせるころはてからるというならいろううつの うちりかいってあすすかみつうさのごさけれれれのます いくとせたっていけんくれあっかかろうかれるのいみ るちょうものはいけあるうるかのかいったろろ しすれてガカかむさ これからかのちること かのかきねるものとう しむしてもかのならいのはする

と注る

连多 信食

がとける人のころのううかころろのかわいかもひり そのそろれてろいされさらっても西はあるろくとなれ うそっていうるのはでるごう るくろうるのかのよろうとしのが過れなってん る月とからいときあっとうちとりの多はろの ナーきのもかせとう そのこととなるかもひつける そろかかのかのゆめのよう そのろうとの おもいついけ

等なる 対党を

いろくの人のことのそそろも

一名なるせるのころでもろ

っつのろう

すけてえらうないてもあるころかくうろろろちかれて

りれることろやらしてるとてもうらせのかのるるでからる と一月のうつれてってからろうでかってのかっているうろきこと あそれこのかやのたひくと夢よう なられなどか明らちとことろんこのだもかとんさ やかせひとせればられ

花多

籽麦

月のあきされせるしてれてるるとなるからとの こあかれてすていちとけのかと思うさないるんたいきら 十二多地のちゅうなりるれる

和出行 神祇 考社活 つきてりいきもてるだのころもてあうきもつろきもしのかられて くもりのき月りでみてもわかくそよで見れのいろりわるるい 八石の神せもひとつかり

内かかりあでや国とるひけら世あすむるのとろめん るかとうこまのっいろ るやこのなめらるのまでうれれるとのたろうへ むらいれれのえもあるうるともの月のおのこから 男といくともかれるののられもさからったっと くわらりききるりの名ととうてせどのくうかとてらずれ ませれた人のかな国をからていれのからころうと ありいるそのなちらりしかかるらあれるのもろい へくていきるもろうと けていてかってこのかつまれもちととろうろかか 世とたるかくつとはことのそのか かかなさきるのけ

的地流

福高的

月ち

多江元

スーー

泛

適

想透透着道道

とかりますむつきそのおつまりのみかるれるかっ おいるかってきての発しもつるのもかりるりまりってあった 仏人のたるむせるる好といまっのかのうるうちへる すでなるるるろう すったもろうけてるとしはみるやちのもちつひら せるうるかのからこうあるったれらのいるのよるつしてしても るもまるころも方代とのつろかいるのかりもとつの あいるしてごけわずりも一きちのからこるはこず思えている はめろうっちいかのるのきるりるがあからいとう ちらこれれて人もあるする人ろうちわりやのころしっ くえもともれるたれたとのそ

考验等 经发生

的努

一方代いるるまっているの上のしょううっともろのとめっと もここのどろしゅ えてこんるをのか えるなるかあるとのさでなるかくをなっているかって おかるのなででのあるこれかのとうのえるやおうえ をるできるかとうそのとろうかりかるのでとろう おすっちもますってくうたのまりるかれる るてるるとらなって いるとせるけんとうそるかひているをえをもれたん そのてのきうつきか 万代のこちしてるなっちのとっち 一のきるとよいうる他のものするい ときるともろうもちのちのとる あつつめをきるのあれる ととうろ

それで

好学 整松 京る

すると

子ひもちろうちのうちまけいかるやろう なるなり世とちょう あらとていむり、きりまるうろあむといってあいる神的 は、今うらもきが かりつうないるとかのをのれるうるいる世でえるうち けわれたうを生とでき田の名るかでかっちいかった そとのうちのうずれきいのわらのう いんしのうてやこてはううかあ

路ら

くこてろし

在我的後同一司安俊不 超常鬼物

地加

好ちまち 立天水

追認動 うかのならあいくろはるからのとからうとう あきこはりうつとけゆ んとけさいわらてをわの都らろもとろうちゃ 心風るそうつちのせの

お海

かいいのうでもからまて子なんかといろうととうな とうへの神のゆます かそへとあとつろのののこち

一方ちろう 四三五多

> なれるなってんかれのゆうくとうるるるのころ そのかろろう らいきゃいくろうう

北若著

きないちきかのいかか ともかっころれてあのれんのら

> 神宮皇学館文庫 る日連入 「香雲集」 10060616

极格 粉龙艺 羌事梅 梅谷水

そり後 松多弱

谷一 切るる

多多

水を

的好和

吏一

えま 多一

ある

去他

るるで 打點

をき

おち

ちる人のそのかけいからそろ 死とうてかれぬかのれこるらく いつくとしるそのまりててとってけるるのでえるうねり ちろこともありるのでもからるあるかせである なるともあのなっ くってきないれのからしてわってろのゆとのあり きけるも多いくいまるとうないなの、そのかちの むるのますであるでもるるるとくたのうける ひかれもからからうまあむりところも月のぬかっき たちもろからする の切りてともうやいってるるちろ れやむれ こそのうるとうるいろう ちからってもれる できますむめのとい

そのはからいくられいと行くまとうしいのをはったく

いっちものかいさ うずれち かろともちあっずまか

死るれかられまのかかけるるとけてるかりしく

ろろれのでえるそのこのかるとろんかもるかる

かろうてくしててるせてられてしいつとあくされられて

わりてかりむのころはったっくこのころすてしろれのち

かつろそらのまるものとろ くるをされてるのかっ

ろれらりつうころのいるきるかれてらつちったのえのもの

とそひくると、 つら 一つかずられずこいかをかをのでゆう

そうつつの死ともかけ てちばらもなのはのかちいさらり

ちるち

ういいからむのろう ちのまちるあるるかのとう

文路子 さかも

别。

多郭云 五)

藝稀

多中

記る日面

另格

乃るち 北野川 師一

松りし 曼他王

なる

极多智

的通风

えの地をあるのちろというれ 马马鸣鸣 ろうくらりいこれから るつめへかのかくつ ちろろうとは少つさてつのいろなったり山む いろうろめれらか くちてくるけのでていえこのよかか れけころの月とれてのされのか しゆいりかかのるとあるのまっさせ うくしなくはちありっとしてる きずるうとなっ、多されのな そろいろんせるのそころは るかときすり

ちなのきの格らけら いろうのひりとう

ろけられんとろろろうるのやらつつろうのきつき ろもろのなっのこのありあるかもともなれなうのでに

きっていてんあるいきかてもろけてのつのうらいち

うなるいのかいろうろう うりのせのから

わっていてはまちつきろのむやちのうゆからん

ふるろれのうきは 好ってみるはろろけやうしろ

れてってれゆるるかといてるちもとときならちのや

多るなでおのせての数かい、みとしてものでき

うさせてる中し てまろれているからへっせこのこと

このおもろととしてのかてもれらちそろなのいわ

1549 山西村

七夕分 包字

サーけでくくとおもられのもあったらきあのかとととる

ヤマーちかのかとちらかあめてものとくあまのってしる

とうべきなりあっていちかといろでいるくれたのろ

ごらはむとのととれらうないいみずむれの好をきるで

为多的

好多

う人のかるのうなのでするういろうれるもかいくでくろう

人りれのまとうちまちろうとされるのはのつろう

老老

一好移和

あるろうとのろろ

とうつきてもののきれももうかでの

そののいのもからうごろうをある」はおろうとこかし

当

を初ろ 芦也一

宝高產

焼的

好多 站的

门北京

湯月

打八五

きってもうったちのろうさいきてけるちろうの羽る もる名のかというさてい田とういるであってか 少とさきありるないまのかちてもれといかろろのひとつ あれててきくようられめかのあっとも気をもいてきさん 一次と到了けてもきあのまこすれてかつろうう かそろ

ふちどのはしろうかとってっけられてみるよう いつまてっあいれとみあるるとろととうちろうちののころん

むるのといれるるるろ 日も、我の事のあきちろ

みろもれいろうろろのでのう なりかりそでかつらけあかり

るの日あのよりかななるけっとうとうとうとうかりつの

2月 多友 呓 月葵村 歌言

入るはるてもつりないのものわうつき月してるむい

れないろうまのせれ

向ひついまるりりるあるかち

好ととさいろうらって

なるのましてるるをますの月記

神宮皇学館文庫

梅和多 爱艺的 方方は

らいつのうれつかっての

格さむきあとつろうた格のいろうる

弘红多 たる

みれてありはつきなるとのれのでうると思ろろとすの好は

るるののありといるくれだり、ラかっきかみ入山ちかれ

られってははのるからちつていけもろれるのかう

るをするは(のうからう

そろえれてゆりのりきのをなる

お多後

河红多

枝ってうちのから江をわかるないとかったあら

松上のる

初もあくまろうるっちられるからあるるとういう

るとをあってのみをのろかとろもつるとうちゃったり

里了一

こいっきいとろろれれ

いるるるでのちのようのとうろし

神多点

老楼和

ううれのちううとうきかとのこれっててこれがある

するののあったさまっこうるであのかももちろい

多多

老老

のいちこそのあるそろろうもちのそつうつのうるから

ちつでるなるるろうかときもまするなのち

かどれるろ

意るる

為極水

するれていれのけい!

くしていのかけてつくろしつと

るかれいのでれないあきませからるとってもろうもろう

たさおうとわくかと、除るう

うるしまいとうなのもみちる

多多

, 传,): あちろろ 市多

修上去 抄多

当

为移

起山

好之名

海電物

を必要 五多公司

为元

色成り

多福的 する

ろり

るきし

いろもとのうなのでえてかの入びるこれであるのある ていていているいとうころのあるのではいれる さしもりこちりてとするこののあるともといろひち りりょうかいこうをめいるるをもあっきっ ならとりけいわりのうるかやするのきまをこうる なるついつのとる うるうなっているととうかいするのろれであるから うてのころうの数のもできるうちもかっていちのらかる もなられるのといろおれるかのあまっけ うきせるいときとうしますとうしいありとろうこと うてるとうちろうしてもありまる

これもいってもあってとっているというのあるから 月とうかもからいろいろ むろうろてのののなっちな 222 それてそのきるかられて せらてもちかから

つるうとなりけるものしままらりみとうるいの者となること かかつるかりちあから みるめのされとうるのこかとととれて そろういるこれるかのあいられられてやという あるいとろっても河川 いってっとかもいい 多のかでいととかんまからのこと のういけるかくとめことのでんから ろううかのこれろ ま さつの一ちり

名ち 多多 名かり

るれてるようたうされってするかってる

うくつれるうるからろうう

つきてむっちといてしてからるってもつくっていつうかち

こから 行品 君女

かくからうつかいないとってもかりまこめっこひのからち

ってとしてうそうとかかるころのうける人のか

うろいっなとわろきかいてもってんなったかいれる

多礼 强意

何めてあるからきすってむいとろんとの形でとく

とてのとかせいちのううとかいあるりかるろれでうる

なるってのかつこいさとかもいわれるとこの月のわりかのろ

旧多

安吃

净

多

あるはのううるやまんとかってのうろうなっていかつむかからい

できってなれれかってともかのころいもうかかのころうと

のうきをのまこもろれともっているのかもひるの

晓文彩

名ののはるととういい

かろううでの月のかのかり

一里

ようううひまきるからのうしゃい それずからも

してとのろ

くらいいいろうつろわらかのつろみつろうところ

一台花

あかんまつないまであゆるいとうでよいひきかゆいても

ちはなり中であるられるなるなるなっているとう

おあ

くてとかせとるて いそろあのれなり

しとかろうら

彦

鸦

多

加好的 必ろう 左ちな

多名 谷進史 杨上苔

記楼 名石庙

過多

海潭 山都积 る

格岩南 田都獨

超多

连发 多地な うさまっ

> ちかろうのかる けるというとのまることうちろんかのんろかのこと 多しょうこけのものするでくろうるからちのおひめ ちらいちいまってなるなっててもでうるのける ゆういのそくもきのかっていとううことの からのこのしてかとれているのか 山ても行うされていったと見まり中のやてのゆうつめ こるるいろう むれていくとくやいる年もあるいこののそろれのうる えてもありかのゆいちろう~からううつうちめてと ちもちろうのののこのやうつろ というろうちかかからのつ 4

行ありるるのかくろういかしているいのかのかいさ

一すちょうていとらって いろってやつますろうとのえもろうすいちのいはのとう らいってんあとの話しかもいす

野中河

りりを

ぬからうなったとうのちくやとなめのるうろうか かるとしているととところうさいなってとかっ

うちるいくるののうちも の田の名あるけゆれのかろういろ

あつずのひろのろってかのういれるきがらはれののや

かことうとうしてのころけるいのをのそれなるか

行をきのゆきなのりのべくめるればするかでもあった タスパれてぬめらしてのろけるうとという人もあっせる

多种我 かられ

台往事 多笔礼 ことうずられてつる こけのむけんのであるなり くなりのきこうえも ずしあのためってつ

右二州或家之以秋 實馬九己卯千久 旬







蔵 神宮皇学館文庫



名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫「香雲集」 10060616